

小鹿野町政策審議会 会議録 (第3回)

発言者	会議の概要
総務課長	<p>1 開会</p> <p>それでは、第3回小鹿野町政策審議会を開催させていただきます。</p> <p>なお、本日の傍聴希望者は2名です。</p> <p>前回の会議までご活躍頂きました飯塚委員につきましては、4月の埼玉県職員の人事異動に伴い、秩父地域振興センター所長が交代され、後任の坂本様に委員をお引き受け頂きましたので皆様にご報告いたします。</p> <p>それでは、はじめに小松会長よりあいさつを申し上げます。</p>
小松会長	<p>2 あいさつ (会長あいさつ)</p>
総務課長	<p>続きまして、小鹿野町長 森真太郎よりあいさつを申し上げます。</p>
町長	<p>(町長あいさつ)</p>
総務課長	<p>本日の議題に入る前に事務局より訂正の説明をさせます。</p>
事務局	<p>開催通知の議題(3)審議会の諮問について削除の訂正をお願いします。</p>
総務課長	<p>3 議題</p> <p>次に議題に入りたいと思います。</p> <p>議長につきましては、小鹿野町政策審議会条例第6条の規定によりまして、小松会長へお願いいたします。</p> <p>それでは、会長よろしく申し上げます。</p>
小松会長	<p>それでは、議長という事で議事を進行させていただきます。</p> <p>議事の前に4月の埼玉県職員の人事異動で、秩父地域振興センター所長の異動があり、委員の変更がありましたので、ここで新たに委員になられました、坂本委員より自己紹介をお願いします。</p>
坂本委員	<p>(自己紹介)</p>
小松会長	<p>3 議題 (1)会議録署名委員の指定について</p> <p>それでは、議長という事でしばらく努めさせていただきます。</p> <p>はじめに、議題(1)会議録署名委員の指定についてですが、こちらにつきましては、宮本委員、山口委員を指名します。</p> <p style="text-align: center;">(はいの声あり)</p> <p>よろしく申し上げます。</p>
小松会長	<p>(2)第2回会議録について</p> <p>次に(2)第2回会議録についてですが、開催通知と一緒に第2回会議録を送付しましたが、記載内容、誤字等がございましたら、ご指摘をお願いします。</p> <p style="text-align: center;">(なしの声あり)</p> <p>よろしいでしょうか。これで第2回会議録を確定します。</p>
小松会長	<p>(3)意見交換</p> <p>次に(3)意見交換に移りたいと思います。</p>

小鹿野町政策審議会 会議録 (第3回)

	最初に、町からの説明をお願いします。 まずはじめに、町の主な助成制度について事務局よりお願いします。
事務局	(資料に基づき説明)
小松会長	説明が終わりましたので、何かご意見、質問等ありますか。
吉田委員	実績についてはどうですか。
事務局	調査しまして、次回開催時に報告します。
小松会長	他に何かありますか。なければ次に小鹿野町総合振興計画の方向性について総合政策課より説明をお願いします。
総合政策課	(資料に基づき説明)
小松会長	説明がおわりましたので、何かご意見、質問等ありますか。 私からの意見ですが、住民が町のために何が出来るかを計画に組み込んでいただきたい。 他に何かありますか。
吉田委員	計画の策定にコンサルタントは入るのですか。
総合政策課	入ります。予算の都合上アドバイスくらいです。
吉田委員	冊子にして配布しても、ほとんどの方が見る事がない。 パブリックコメント時に、ネットを利用して意見投稿できるページを作って、色々な町民の意見募集を行うと良いと思う。新しいアイデアとしては一つの手ではないでしょうか。 町政運営には総合振興計画を基本にしていくでしょうから、町民の意見、ニーズをより多く取り入れてもらうための方策ではないかと思います。
小松会長	若い人が町政に携わる機会がないから、町政懇談会への参加者が少ないのではないかと。若い人を計画の策定に参加させる手段を考え、意見を聞くべきである。
町長	今会長からお話の出ました、これから町を背負っていく若い人達の意見を聞くというのは、大変大事だと思います。
山口委員	この町で一番核になるのは、消防団員です。若い人の意見を聞くのであれば、消防団員が町の中核ですから、消防団の意見を聞く事が、町全体の要望等になると思う。
副町長	先程会長から若手の話が出ましたが、昨年度から職員の若手プロジェクトを作り色々な交流をしています。今日お越しの坂本所長にお骨折いただき、関東財務局の職員との交流をしたり、路地スタ等に参加したり、ボランティアでも活動しています。役場は縦の組織ですが、プロジェクト員どうしが意識改革をして取り組んでいます。
須崎委員	私は40代ですが、その下の人たちはメールとかが主で、直接的なコミュニケーションのとりかたではない。旅館業も若い方がSNSに書き込みをして頂いて話題が広がる事もあり、世代により言い易い環境があると思うので、メール等での意見集約も必要であると思う。
吉田委員	先程の萩原委員の話の中で路地スタの話が出ましたが、今度6月3日に10回目の路地スタが開催されます。私は中央の方で采配をしている立場ですが、まさに住民の手作りで中央にいてもどこで何をやっているのか把握出来ていない状況です。というの

小鹿野町政策審議会 会議録 (第3回)

	<p>は、今年初めて参加するような団体や、広告に載らないような小さなイベントが各地で行われているようです。副町長のお話のように役場の職員にもぜひ見てもらいたい。過去5回目くらいまでは行政もお手伝い頂いたが、その後は行政から手伝ってもらえなくなった。職員も町民として参加しこれから企画もしてみたいと思ってもらえればうれしく思う。運営をしていく立場でもなかなか新しい企画が生まれてこない。どうしても40代から60代くらいの人で運営しているので、なぜ若い人が参加してくれないのかと思いつつながら反省しています。現在町の企業の年齢構成を見て、若い世代が一番多いのが小鹿野町役場だと思う。職員はほとんど定住人口だと思いますし、町の魅力を自分達で作っていくという気持ちで参加して頂きたいと思っています。</p>
小松会長	<p>5月4日に十輪寺で花祭りをやったのを知っていますか。若い人が多く、町内の方は見えなかったが主催は十輪寺の住職さんがやっていると思われる。役場は関わっていないと思いますが、役場が関わると頼ってしまい自主的にやらなくなってしまう。ですので、氷柱、ダリヤ園は地域で継続して実施し延びている。</p>
坂本委員	<p>皆さんの意見のとおり、若い人の意見を聞くのは大事な事だと私も思っております。森町長が就任し、即座に若い人の意見交換の場を作ったと新聞で拝見しました。その中に女性職員もいると思うのですが、若い、女性の声を聞くというのがポイントではないかと思っています。この審議会も女性が須崎さん1人なので、人口の半分は女性ですので、こういった場所でも女性の声をしっかり聞いていくべきだと思います。最近国の方でも議員の女性比率を高めるような法律が議員立法で出来ていますので、必然的にそういった場を作っていければ良いと思っています。</p>
山口委員	<p>補助金をみると、私に該当するのは0ですが、なくなった補助金もあるのですか。増えていく一方ですか。要望があるから実施するのですよね。</p>
宮林委員	<p>補助金の今の使い方は、事業を起こす時の初期投資として使い30年先を見据えたような使い方をしないと絶えてきてしまう。川場村は40年前の若い人が集まり村を作ったのが、今その人達が後継者を作って50年先の村を考えるというテーマで取り組んでいる。そういうように繋がっていくと若い人達と繋がりもでてくるので、若い人達というのは賛成します。総合振興計画は内々の事しか書いてなく、交流、定住或いは関係人口を掴むような目標を設定しないと、また内々の計画になってしまいます。町は企画屋で町民は社員というような構造にしないと持たないと思う。</p>
小松会長	<p>小鹿野町の個人経営で外貨を稼いでいるのは観光業である。旅館業の人は20年、30年努力して集めている。役場の若い職員が旅館業の方々に出向いて話を伺ったりしているのか。机上でやっているのは本当の苦労は分からないと思う。総合振興計画にはインタビューも必要だと思う。氷柱をやっている方々も外部から人を呼ぶにはそれなりの努力がある。</p>
小松会長	<p>他に何かありますか。なければ次の説明をお願いします。</p>
産業振興課長	<p>(資料に基づき産業振興関連予算について説明)</p>
小松会長	<p>ありがとうございました。何か質問やご意見がありましたらお願いします。</p>

小鹿野町政策審議会 会議録 (第3回)

<p>今井職務代理者</p>	<p>産業振興課長から森林環境税についてお話がありました。先般埼玉県の木材協同組合の総会がありました。県の森づくり課の方も出席をされていて、色々お話を聞いたのですが、県内のある市町村では森林環境税の金額が少ないので寄附をするといったような所もあるようです。さいたま市は人口比率でおよそ毎年6,000万円位入るようですが、県内ですと山林を保有しているのは秩父・飯能エリアに限られてしまいますので、山を整備する山仕事をする人を育てるのがいいのではないかという意見が出されましたが、そうした中でさいたま市でも、これから山林の仕事をしてみたいという人を募っていくそうです。町でも広域でもいいのですが、県とのパイプを太くして頂き、意見交換を常にできる環境を整備してもらいたい。県内の山林を保有しない各市町村では秩父・飯能エリアに寄附をするような構造になってきましたので、情報を注視して頂ければありがたい。会長がおっしゃったように、山林が崩壊していますので、山林がお金を生むようになれば町も潤うと思いますので、これから良いチャンスが来ると思いますので、行政としても貰えるものは貰った方が良くと思いますのでお願いします。</p>
<p>町長</p>	<p>今井委員のご意見ですが、来年度から一部森林環境税が交付されるという事ですが、職員も貼付けました。優秀な職員を貼付けましたので、その人を中心に県とのパイプを太くしていきたい。是非今井さんには今後もご協力をお願いしたい。</p>
<p>坂本委員</p>	<p>県で試算するとさいたま市は1億6,500万円位入ってくると思います。秩父市で8,600万円位、小鹿野町で3,000万円位だと思います。宮林先生、森林環境税は寄附できる性質のものではないですね。</p>
<p>宮林委員</p>	<p>連携です。木材利用とかで。</p>
<p>坂本委員</p>	<p>木材利用での連携であれば成り立つと思います。制度上単純寄附するのはあり得ないかと思われます。参考ですが、埼玉県での林業職での先端の職員は都市部にあるため少ない。秩父市には森づくり課があって専担でやっていますが、林業職はいません。県の職員で林業職をここ数年1人派遣しています。飯能市は自前で林業職1人を抱えています。あとはありませんので、片手間に林業関係の仕事をしているのが実態です。埼玉県は林業の部分が手薄になっているかと思われますので、行政の反省点かと思われます。県の役割として林業の人材育成が重要で、この趣旨の一つかと思われますので、県の役割は人材育成に貢献したいということで、色々な役割分担をしようとしています。ですから今井委員のおっしゃる通り、県とのパイプを太くして町が有利になるように声をあげていく事は大事だと思います。我々地域振興センターとしても、地域の声ということで、上げさせて頂きたいと思いますので、一緒にやっていきたいです。</p>
<p>萩原委員</p>	<p>秩父きゅうりでブランド化がなされているという事ですが、秩父で売り出すか、小鹿野で売り出すかですが、わらじカツもそうですけど、その棲み分けは何か持っていますか。</p>
<p>黒澤委員</p>	<p>私も先輩に聞いた話ですけど、当初は小鹿野きゅうりというブランドで販売していましたが、JAが合併したという事で秩父きゅうりになったと聞いています。ケースには秩父と小鹿野と両方書いてあります。要するにJAの合併がきっかけという事だと思います。私</p>

小鹿野町政策審議会 会議録 (第3回)

	もパッケージを作りたいと相談した事があるのですが、天気予報でも秩父が出てきて、知名度が高い。小鹿野きゅうりより、秩父きゅうりの方がいいのかと思いました。
萩原委員	観光の打ち出し方を考えた時、秩父の一部として売り出すか、秩父との違いを売り出すか、色々な場面での使い分けが必要だと思っておりますので考えていきたい。
小松会長	商標登録はしてありますか。
黒澤委員	地名ときゅうりの固有物での組み合わせの登録はできません。ただ、特徴のあるデザインを加えると取得できる可能性はあると聞いた事はあります。
吉田委員	以前JAを通じて、かぶと虫を出荷する話があったのですが、かぶと虫では商標が取れなくて、「かぶとなす」というネーミングにして売り出した事があるそうです。
宮林委員	バイオマスをやられてきていますが、薪ストーブを導入する時の補助金ですよね。薪を生産するのはどうしているのですか。個々にまかせているのですか。
産業振興課長	現在のところは個々でやっています。
宮林委員	いずれ薪も流通の商品にしたら良いと思う。森林組合で切ったあとに短くしてもらえば、それを持って来て薪を生産し流通させれば、薪を金銭として回す事ができる。そういう仕事を作ればシルバーの仕事を生む事ができる。長野県のある村では、薪が小学校、中学校のエネルギーになっていまして、村内でも150軒位が薪ストーブを導入しているので、相当大きなお金が動いている。これも仕事起こしと資源の有効利用に繋がっている。ここのきゅうりは販路を充実させていけばいいと思うので、仕事づくりと、物づくりと、売るという事をうまく連携させていけばいいと思う。それから、林業についてですけど、環境税の話が出ましたが早く下流域と連携する事が大事です。所有者の不明な山林が相当あると思われませんが、このお金をうまく使って町で管理していけば、そういった手はあると思う。大きな町で持っている山林であれば、企業がそれにくっつく可能性があります。大きな枠組みで考えると資源になりますので、その辺は後でデータを出したいと思います。
小松会長	私の意見ですが、森林環境税は小鹿野町にとっては降ってわいたようなものである。ですので、無駄に使わないでどう使っていくかを真剣に考えて頂きたい。ちょっとずつ出すと無駄になってしまうので、私は小鹿野全体を公園にしまえば良いと思う。森林の中を自由に歩けるような事をして、その中で薪を生産していけば二重に稼げる。是非森林環境税を有効に使って頂きたい。
今井職務代理者	先程宮林委員がおっしゃったように、東京都の豊島区には話をかけています。正式な調印はできていませんが、豊島区は秩父市に協力して頂けると聞いています。薪に関してですが、現在民間で生産している企業もありますが、伐採をしてA材、B材と一緒に半端な部分を出してもらえない。持ち出すのに立米1万円位するのに、販売して5千円にしかならないので、伐採現場に捨てられてしまう。山仕事を出来る人を育てないと、建築基準法等も厳しくなっていて、地上1.5m位までは資材にならない。そこで、その部分を利用して棺桶を作ろうという事で取り組んでいて、今は全国から問い合わせがあります。しかし、葬儀屋さんとの兼ね合いがあり、なかなか進んでいない状況ですが、頑張っていきたいと思っております。下流域にもバックアップをしていただき、町の山

小鹿野町政策審議会 会議録 (第3回)

	<p>林を豊かにしていくような方策を考えて頂ければと思います。さいたま市などは、売り込みに来られているようで、東北地方が多いようですが、県内であれば県内の木を使って頂くようPRしていきたいと考えていますので、行政の方にもお骨折頂ければありがたいと思います。</p>
吉田委員	<p>杉だと1m50ということですが、それを燃料にする場合とかは、杉材はどうですか。檜とかくぬぎがいいと言いますが。</p>
今井職務代理者	<p>杉で大丈夫です、問題ありません。ピザとか燻製にするのであれば、香りをつけるのにそちらの方がいいのですが、ストーブであれば杉材で大丈夫です。今はもみが一番使い道がなくて困っています。もみは地主塚に植えてあるのがほとんどで、それが大きく成長し、切っても使うものがないのです。そういうのは、伐採しても出さないで捨ててしまします。</p>
宮林委員	<p>木材の使い方が集成材の部品に使われますが、使われないのは捨てられます。小鹿野高校を林業・農業の特区にしたら良いと思います。山づくりと農地の土壌づくりを教えなくなっていますから。</p>
今井職務代理者	<p>秩父には農工科学がありますけど、そういった事は教えないですから。</p>
小松会長	<p>時間も大分経過しましたので、その他の説明がありますか。</p>
総務課長	<p>(企業訪問の広報、町政懇談会資料の提供)</p>
小松会長	<p>それでは、一人ずつ意見ををお願いします。 次回会議までの考え方という事で、宮本委員をお願いします。</p>
宮本委員	<p>県の代表として観光の研修に参加させて頂き、その席で会長のおっしゃる補助金はあてにはいけないという話を伺った。観光客に小鹿野に来て散策をして、お金を落としてもらおうと、私と須崎委員が入って町の散策マップを作成し、色々な場所に配置させて頂いた。地図を見てもらえば商店街、寺院を回ると一日楽しめると思う。観光客にお金を落としてもらうには、食べ歩きだと思ふ。私が視察にいった岐阜県の街では、人口が1万人程度だが、年間100万人の観光客が訪れているそうです。100万人へ発展させたのは、環境整備に力を入れた結果であり、補助金の活用は困難であったので、視察に行った場所では入湯税を観光協会、商工会、旅館組合に配分し、環境整備に投資していった。小鹿野町でも入湯税をそういった所に配分をして頂きたい。 また、若い人はクレジットカードの使用が多いが、小鹿野町では使用できない所が多すぎるので、道の駅あたりがクレジットカードの使用が出来るようになれば、商店街も随時広がってくるのではないかと。現在カードが使えないという事は観光に力を入れていないと言わざるを得ないところがあります。この前私の所に日本航空から連絡があって、秩父が注目され始めていますので、今がチャンスだと思うので環境整備に力を入れていってほしい。入湯税は現在どんな使われ方をされていますか。 岐阜では入湯税を特定の財源にするのに、かなり時間がかかったようです。実績があればそれが徐々に定着してくると思いますので、是非進めて頂きたい。</p>
小松会長	<p>入湯税は小鹿野町では一般財源に入ってしまうのですか。</p>

小鹿野町政策審議会 会議録 (第3回)

宮本委員	商店街の営業を9時頃まで延長して頂くとかの、環境整備に充てていただければと思います。
坂本委員	入湯税は目的税です。税法で確認していただければ。
小松会長	小鹿野町で秩父郡市の他市町と違いがあるのは、歌舞伎であると思う。そうした場合、宿泊客が時間を費やす事ができる。入湯税は歌舞伎へ投資してみるのはいかがでしょうか。
宮本委員	モニュメント的なものを造るのもいいのではないかと思う。
小松会長	ありがとうございました。黒澤委員どうですか。
黒澤委員	次回提案という事ですが、皆さんの講演、意見等を聞いて、真剣に考えて良いアイデアを提案できるようにしたいと思います。
小松会長	吉田委員お願いします。
吉田委員	6月3日路地スタがありますので、委員の皆さんも是非ご覧ください。仕事の関係でSNSを見る機会が多いですが、春祭りでも特に若い方ではどんどん掲載していますので、これからの総合振興計画、まちづくりにおいて情報交換の場を設けて、定住促進ができれば良いのではないかと思う。若い方のほとんどがスマホにお小遣いのほとんどを使っている状況で、文字を通してのコミュニケーションから実際に出会える場を創っていきたく。若い人を街中で見かけることが少なくなっている中で、賑わいを創出していくという意味では、年1回開催している路地スタがいつでもやっているという雰囲気になればいいのかと思います。これは夢ですが、小鹿野の商店街は1階が店舗で、2階が住居となっているのが多いと思うが、2階の住居から生活感が溢れてくると、随分雰囲気が変わってくると思う。徐々にでも昔の雰囲気が戻ってくるとうれしいなと思う。小鹿野の街にケーブルカーを走らせてみたい。日本では何箇所か路面電車が走っていますが、架線が必要になり支障が生じるので架線の必要のないケーブルカーが良いのではないかと思う。
小松会長	須崎委員お願いします。
須崎委員	やはりカードの利用が多いので、クレジットカード、スマホ決済ができるような整備をしたら良いと思う。少子化対策として、結婚相談のポスターが工夫されていて力を入れているのかと感じました。小鹿野高校の会議に参加する事がありますが、高校生からの意見ですと通学バスの定期代が高いとかありますが、町で対策をして頂いています。また、空き店舗が多くありますのでそれを利用して、高校生がチャレンジショップなどの取り組みが出来ればと思っています。ちょこもて隊は商店関係者や観光関係者、役場の若い職員などいるので意見を聞くのも参考になるかと思いました。
小松会長	財政担当が来ましたので、先程の入湯税について説明をお願いします。
総合政策課 財政担当	平成29年度の入湯税ですが、4月末現在で616万2,000円程歳入となっています。入湯税は目的税で観光関係に役立てるという事になっています。小鹿野町ではおもてなし課の事業に充当している状況です。
小松会長	財政担当は、待機していただきたい。 オブザーバーの山本さんお願いします。

小鹿野町政策審議会 会議録 (第3回)

オブザーバー 山本	手短にお話をさせていただきます。森林環境税ですがうまく活用していただき、高齢者等の仕事の創出をして、町の活性化の起爆剤になればと思います。クレジットカードに関しては民の力でも頑張ります。
小松会長	坂本委員お願いします。
坂本委員	今 2019 年の春就職する大学生の就職活動が最盛期を迎えていると思います。皆さんも新聞、テレビ等でご承知のとおり有効求人倍率が非常に高い状況であり、売り手市場で一見良く見えます。しかし秩父地域を見ると中小企業が多いため、大手企業に人材が流れるため、秩父地域では厳しい状況が長く続いています。秩父地域振興センターにおいても中小企業の人材確保が重要なテーマであると考え、昨年度から検討をしております。この中で色々な研修会や講演会を企画していますが、小鹿野高校の高校生にもアンケートを行い、生徒の声を聞いて今後の産業振興に役立てていきたいという風に思っております。私もこの会に参画させて頂いておりますので、皆さんの生の声を活かしていきたいという風に思っております。
小松会長	山口委員お願いします。
山口委員	第二次小鹿野町総合振興計画のペーパーを見ると、小鹿野の個性が感じられない。話を聞くと半分位分かるが、紙だけ見るとどこの町でも抱えている問題をまとめた感じである。小鹿野町の特性を出して肉付けして頂ければと思う。秩父はひとつと言うが、秩父市内は賑わいがあるが、その1割も小鹿野まで来ない。折角有料道路の出口が尾田蒔まで来たので、小鹿野へ観光客を誘導出来るような政策をお願いします。
小松会長	萩原委員お願いします。
萩原委員	観光、商品を売り出す時、秩父のブランドネームの方が広く知られている。それとの関係で小鹿野をどう位置づけていくかを考えて頂いた方が良いと思う。小鹿野で売り出す場合に秩父に埋没してしまう形ではなくやりたいという事であれば、町内で意思統一をしていく必要がある。もう一つは、行政の選択と集中ですが政策のめりはりが大事になってくる。高齢化が進んでいるような地域は基礎自治体しか分からない事なので、区長、民生委員を大切に、地域で支えあえる状況を構築していけるように目配りして頂ければと思います。
小松会長	今井職務代理人お願いします。
今井職務代理人	第二次総合振興計画は、山口委員と同様どの市町村でも同じと思います。この地域の課題として子育ての前に、産婦人科の問題があると思われる。総合振興計画の中に可能であれば、町立病院に産婦人科を完備するくらいを記載してもらいた。若い人もかなり見えていますので、町長の責任でやって頂きたい。町長が若い人とコンタクトを取りたいのであれば、吉田委員が言ったようにスマホでSNSを活用するべきと思う。若い人も町の政策に関して興味のない人はいないと思いますので、若い人を集めて町長との意見交換をやる事は意義がありますので、役場の若い職員を利用して取り入れて頂きたい。それから先程宮林委員から秩父きゅうりで売り出すのはもったいないとお話がありましたが、私もそう思います。小鹿野の名前を付けて売り出した方が良いと思う。

小鹿野町政策審議会 会議録 (第3回)

	<p>役場の封筒が小鹿野町役場しか記載がないので、封筒の裏とかを利用して観光等をアピールしたらどうか。あと2点なのですが、鳳鳴館が空き施設になっているので、鹿肉等利用した食品を製造したらどうか。また、みどり村にモトクロス場を造ったらどうかという意見もあります。</p>
小松会長	<p>宮林委員お願いします。</p>
宮林委員	<p>今日色々お話を聞きまして、日本の少子高齢化が進み財政が厳しくなっていくので、今までの補助金体制は続かないと思う。市町村は自立していく道を執らざるを得ないだろうと思う。そうすると総合振興計画が基本となるので、物づくり、事づくり、人づくりをセットで中長期的に考えていく必要があると思う。そのためには、小鹿野の基本的な産業を農林業、里山文化、観光、何にするのかエンジンを定めて、それに紐付していく必要がある。そういった計画を策定し町民と議論していったら良いと思う。</p> <p>ここの良さは自然と農業と食べた時のおいしさであり、ファンを増やせば事づくりに繋がっていきます。そんな物語ができるような総合振興計画にしていけたら良いなと思う。皆さんも物語を考えて審議会で議論していければ良いと思います。</p>
小松会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>役場の職員が総合振興計画を作り、職員が町外へ出てしまうという事は、小鹿野町には魅力がないと思われる。そこの事を町長以下良く考えて頂きたい。</p> <p>今回は委員の皆さんに個々の意見を出してもらおうお願いをしました。申し訳ないですが、財政担当と坂本委員にお願いなのですが、国で地方創生とか高齢者対策とか色々ありますが、その中でどういった事業、補助金があるか教えてもらいたい。</p> <p>私は次回提案する予定ですが、町中に高齢者マンションを造り歌舞伎座を入れて、若い人達が運営していくような事業をやっていたらどうかと思っている。</p> <p>それでは委員の皆さん次回までに、具体的な提案まではいいいですので、案としてどう汲み取っていくかまではやりたいと思います。是非皆さんのご努力をお願いします。</p> <p>では次回日程について事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>4 その他</p> <p>今回は7月18日(水)にお願いしたいと思います。</p>
坂本委員	<p>確認ですが、補助制度のお話ですが、県の補助金も色々ございますが、どのような関係がよろしいでしょうか。</p>
小松会長	<p>小鹿野町で使えるような、坂本委員の推薦できるような補助制度をご紹介ください。</p>
坂本委員	<p>それでは産業振興、高齢者事業などに的を絞らせて頂きます。</p>
小松会長	<p>それでは議長の座を降ろさせて頂きます。お世話になりました。</p>
総務課長	<p>5 閉会</p> <p>ありがとうございました。以上をもちまして、本日の審議회를終了いたします。</p> <p>大変お疲れ様でした。</p>